

# みなみしまばらし 議会だより

NO.74

令和6年  
10月31日発行



「無双凧」提供：有馬無双凧保存会

## | CONTENTS |

- 令和5年度一般会計・特別会計・企業会計決算 ..... P 2 ~ P 3
- 令和6年度一般会計・特別会計・企業会計補正予算 ..... P 4
- 一般質問 ..... P 5 ~ P12
- 委員会活動 ..... P13~ P17
- その他 ..... P18~ P20

将来にわたる財政負担 (単位 千円)

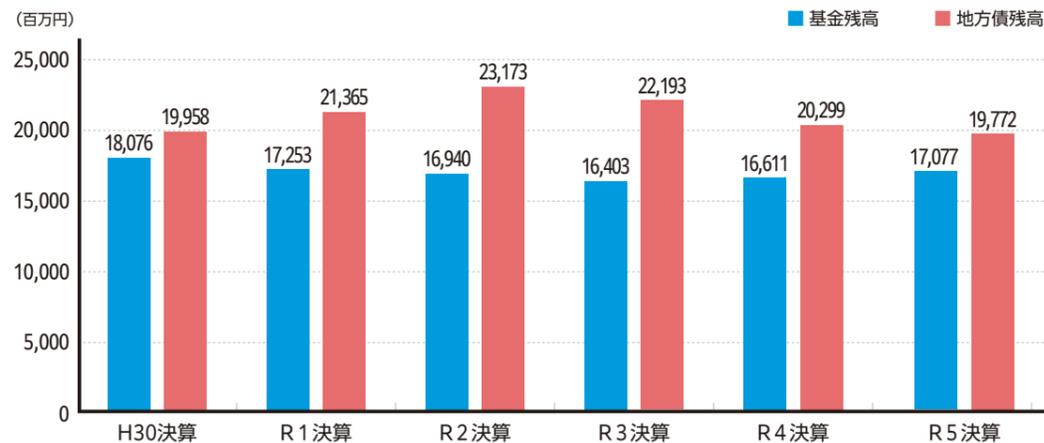
区分	令和5年度末
市債現在高	19,771,840
債務負担行為	806,680
人口一人当たり(円)※	474,961

※人口一人当たりの市債現在高

積立金の状況 (単位 千円)

基金名	令和5年度末
財政調整基金	3,529,600
減債基金	2,840,672
特定目的基金	10,707,111
合計	17,077,383

南島原市の地方債残高と基金残高の推移 (H30~)



R5 令和5年度 特別会計・企業会計歳入歳出決算



01 国民健康保険事業

歳入総額 **79億4,461万2千円**  
 歳出総額 **77億7,019万9千円**  
 実質収支額 **1億7,441万3千円**

区分	令和5年度末	前年度比
総世帯数	18,366世帯	△51世帯
総人口	41,186人	△992人
国保世帯数	7,708世帯	△262世帯
加入世帯率	42.0%	△1.3%
国保人口合計	13,603人	△717人
国保加入率	33.0%	△0.9%

02 後期高齢者医療事業

歳入総額 **7億3,432万円**  
 歳出総額 **7億3,204万8千円**  
 実質収支額 **227万2千円**

区分	令和5年度末	前年度比
総世帯数	18,366世帯	△51世帯
総人口	41,186人	△992人
被保険者人口	9,637人	178人
加入率	23.4%	1.0%

03 水道事業会計

総収益 **12億2,569万7千円**  
 総費用 **10億7,007万3千円**  
 純利益 **1億5,562万4千円**

給水人口	給水件数	年間総配水量
38,235人	17,050件	5,050,337m <sup>3</sup>

04 下水道事業会計

総収益 **6億2,310万4千円**  
 総費用 **5億4,940万5千円**  
 純利益 **7,369万9千円**

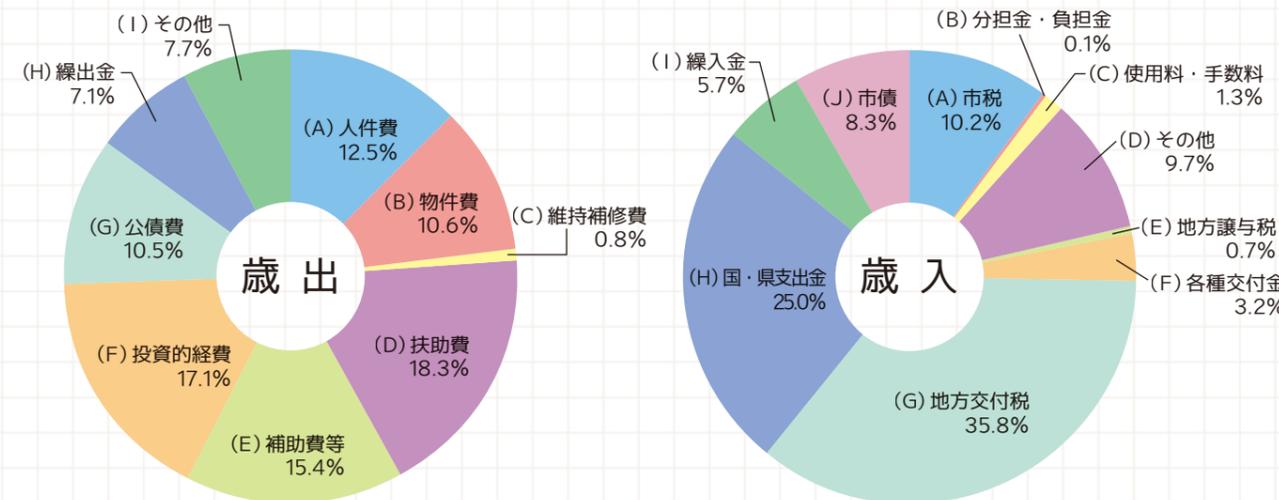
水洗化人口	水洗化世帯数	年間処理水量
4,088人	1,981件	504,397m <sup>3</sup>

R5 令和5年度 一般会計歳入歳出決算



歳入総額：**361億8,731万6千円**(前年度比 1.1%増)  
 歳出総額：**340億5,778万7千円**(前年度比 0.9%増)  
 歳入歳出差引額：**21億2,952万9千円**(前年度比 3.1%増)  
 実質収支額：**19億 37万3千円**(前年度比 3.5%増)

9月定例会(9月3日開会~10月1日閉会)において、9月13日、17日、18日の3日間、決算審査特別委員会を開催し令和5年度一般会計決算について審議を行いました。



南島原市の一般会計決算を、年収361万円の家庭の家計簿に例えると…こんな感じです。

〈歳出(支出)〉		〈歳入(収入)〉	
一般会計決算(単位 千円)	家計簿に例えた場合(単位 円)	一般会計決算(単位 千円)	家計簿に例えた場合(単位 円)
(A) 人件費 4,265,441	→ 食費・被服費 427,000	(A) 市税 3,688,109	→ 基本給 369,000
(B) 物件費 3,605,949	→ 光熱費 361,000	(B) 分担金・負担金 51,861	→
(C) 維持補修費 282,633	→ 車等の修理費 28,000	(C) 使用料・手数料 460,847	→ 各種手当 403,000
(D) 扶助費 6,223,414	→ 医療費 622,000	(D) その他 3,515,364	→
(E) 補助費等 5,255,840	→ 学費・各種会費 525,000	(E) 地方譲与税 241,342	→
(F) 投資的経費 5,789,076	→ 家の修繕費等 579,000	(F) 各種交付金 1,151,846	→ 親から等の収入 2,340,000
(G) 公債費 3,570,732	→ ローン返済 357,000	(G) 地方交付税 12,970,633	→
(H) 繰出金 2,422,839	→ 子どもへの仕送り 242,000	(H) 国・県支出金 9,038,955	→
(I) その他 2,641,863	→ その他 264,000	(I) 繰入金 2,065,349	→ 預金取り崩し 206,000
合計 34,057,787	合計 3,405,000	(J) 市債 3,003,010	→ 銀行からの借金 300,000
		合計 36,187,316	合計 3,618,000



# 一般質問

第3回定例会では、14人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

議会を動画で見よう！

◆「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧いただけます。

◆一般質問記事の内側にある「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



南島原市議会 中継

**議員** 来年3月で原城振興公社（原城温泉真砂）の指定管理の契約が終了することに伴い、現在指定管理者の募集が行われている。9月13日が応募の締切になっているが、原城振興公社は指定管理者の募集に応募するのか。



田中次廣 議員

原城振興公社は、指定管理者の募集に応募するのか

市長 今回、指定管理者に応募することになった。

**議員** 昨年9月以降、この債権の解消に向けた取り組みは、今まで給食センターに任せていたが、令和6年度から教育委員会と共同徴収を行い、未納分の解消を図っている。それと、古い債権が非常に多いので、学校給食会の債権管理規程及び取扱要領を制定した。今後はその

**給食費の未納について**

**議員** 昨年9月以降、この債権の解消に向けた取り組みは、今まで給食センターに任せていたが、令和6年度から教育委員会と共同徴収を行い、未納分の解消を図っている。それと、古い債権が非常に多いので、学校給食会の債権管理規程及び取扱要領を制定した。今後はその

**議員** 8月22日の現地説明会には、幾つの法人が参加されたのか。

**地域振興部長** 現地説明会には、県外が3社、県内が6社（そのうち市内が3社）の9社の法人が参加している。

**議員** 原城振興公社以外の方が指定管理者となるときは、現在の職員は、本人の希望があれば引き続き雇用するよう、市のほうからも強く要望してほしい。



世界遺産センター完成予定

**議員** 全体事業費が13億8,300万円との説明もあったが、工事等が遅れることによって、工事費の大幅な増額にならないよう、取り組んでほしい。

**議員** 6月の議会全員協議会で世界遺産センター整備事業についての全体的な説明があったが、現在の進捗状況は、現在の説明のスケジュールと比較した場合、事業認定のほうで、2か月程度遅れているので、全体的に2か月ちょっとの遅れがある。

**議員** 6月の議会全員協議会で世界遺産センター整備事業についての全体的な説明があったが、現在の進捗状況は、現在の説明のスケジュールと比較した場合、事業認定のほうで、2か月程度遅れているので、全体的に2か月ちょっとの遅れがある。



質問の様子を動画で見よう

## R6 令和6年度 一般会計補正予算（第2号）

補正額 **17億798万5千円** 増額



緊急自然災害防止対策事業に要する経費 **2億1,000万円**

・災害の発生予防や拡大を防止するための市道修繕等に要する経費

中学校施設整備・改修事業に要する経費 **1億3,296万6千円**

・深江中学校、西有家中学校の雨漏りにおける屋根防水改修事業に要する経費

災害復旧事業に要する経費 **2億990万円**

・令和6年6月豪雨により被災した、農地や農業施設、公共土木施設の災害復旧に要する経費

地方債の繰上償還に要する経費 **10億3,820万円**

・後年度の負担軽減のため、中期財政見通しに基づき、金融機関から借り入れた地方債を繰上償還する



## R6 令和6年度 一般会計補正予算（第3号）

補正額 **5,200万円** 増額



令和6年8月に発生した台風10号に係る災害復旧事業に要する経費

## R6 令和6年度 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 **335万円** 増額



公金振込手数料の有料化に伴う増額、およびマイナンバーカードと健康保険証の一本化に伴い島原地域広域市町村圏組合のシステム改修に要する負担金

## R6 令和6年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

補正額 **233万8千円** 増額



公金振込手数料の有料化に伴う増額および令和5年度の出納整理期間に保険料の納付があった分を広域連合へ納付するもの

## R6 令和6年度 水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 **146万8千円** 増額



公金振込手数料の有料化に伴う増額および水道料金の改定に伴う島原地域広域市町村圏組合のシステム改修に要する負担金

## R6 令和6年度 下水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 **13万9千円** 増額



公金振込手数料の有料化に伴う増額

**北有馬地区の小中一貫校を調査・研究しては**



黒岩 英雄 議員

教育長 在り方検討委員会の中で検討していきたい。

**小中一貫校について**  
 議員 北有馬地区の児童生徒が減少しているが、将来に向けて調査・研究を実施し、その情報地区住民に公開できないか。

**教育長** 本年2月アンケート調査を実施した。今後は適正規模、適正配置の在り方検討委員会も立ち上げ、必要な情報は適時公開していく。  
 議員 例えば小中一貫校等にはいろんな方法があると思うが。  
**教育長** 小中一貫校の中には、9年制の学校で行

**市内高校への学校給食提供の検討を**



隈部 和久 議員

市長 高校から要望があれば、当然検討するが、現状では難しいと思う。

**議員** 前回、同僚議員も質問したが、本市の二つの高校への学校給食の提供が困難であるのは、学校給食法が直接の原因か

**教育長** 必ずしもそのみでなく、高校側に受け入れる体制がない。また、給食センター自体の対応や、運搬、管理に関する問題等々、そして何より高校側からの要望がない。  
**議員** 要望がないのは、学校給食法が施行されて70年がたち、そもそも高

う形態の義務教育学校や、組織上独立した小学校及び中学校で一貫した教育を行う小中一貫校がある。  
**議員** 施設の形態は、施設一体型、隣接型・連携型などがあると思うが。  
**教育長** 設置者が同一か同じ敷地の中で連携しやすいか、いろんな条件があると思うが、北有馬地区の場合、小学校と中学校は道路を挟んで少し離れているが、可能な部分があるかもしれない。

**ふるさと応援寄附について**

**議員** 返礼品となる農産品の生産分の出品方法から、寄附した方の税の控除までの一連の流れは。  
**市長** 中間事業者が、返礼品である農産物情報をサイトに掲載する。寄附者はサイトから寄附、返礼品を申し込む。その後確定申告により税額控除を受ける。  
**地域振興部長** 中間事業者は(株)さとふる、(株)スチームシップの2社である。

校生に学校給食を提供するという概念が、すべての関係者にないからだと思う。法的に絶対に無理ではないなら、国内で事例はあるのか。  
**教育長** 秋田県羽後町で令和4年8月から、町内にある県立高校(生徒数90人)への学校給食を開始している(ほか、数校ある)。

**議員** 近年の気候は、夏休みを除いても5月くらいから10月近くまで高温状態が続く。生徒たちの健康衛生面を第一優先に給食提供をしたほうがいいと考えるなら、時間がかかると、様々な課題をひとつずつ解決しながら、実現へ向けて、行政、議会が協調し検討すべきである。

**脱炭素化施策について**

**議員** 本年度施政方針にて市長が示した、分散型エネルギーインフラプロジェクトの内容は。  
**環境水道部長** 脱炭素化や経済の地域内循環、災害

**議員** 今後、力を入れた品目は。  
**農林水産部長** 品目の割合では市において生産量の多い肉類、加工品等が少なくないので、地域振興部と一緒に高めていきたい。  
**議員** 企業版ふるさと応援寄附の説明を。  
**総務部長** 市外にある企業が市へ寄附すると、企業は税金の控除が受けられる。

**農業者年金について**

**議員** 女性農業者年金に支援をお願いしたい。  
**農業委員会事務局長** 国は農業者年金者が老後を安定的に暮らせるように担い手農家の負担を補助しているところ。  
**議員** 迂回路として利用されている市道西中谷線(夏吉・上原・白木野)の整備の状況は。  
**市長** 離合場所及び舗装の準備に向けて発注の準備を進めており、12月中



北有馬地区小学校・中学校



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

に強いまちづくりの実現を目指し、太陽光発電、地中熱を利用した空調システム、蓄電池の設置等を行っていく計画である。  
**議員** 本計画の総事業費の概算額と事業主体についての説明を。  
**環境水道部長** 各省庁の補助を申請し(2分の1、または3分の1)5か年で約21億5千万円余りの予算規模であり、その事業主体は、事業推進法人が行う。市は申請等の手続きの補助をしていく。



給食センターの調理風景

**大抜地区土砂崩れに伴う災害復旧の見通しは**



田中 克彦 議員

市長 復旧工事は令和7年度から、迂回路は12月中の完成を見込んでいる。

**議員** 大抜地区土砂崩れ災害復旧に向けた今後の見通しは。  
**市長** 地盤の調査ボーリングを行い、次に測量業務と設計業務を行う。本格的な復旧工事は令和7年度から着手予定。県と一体となり早急な工事完成に努める。

**議員** 迂回路として利用されている市道西中谷線(夏吉・上原・白木野)の整備の状況は。  
**市長** 離合場所及び舗装の準備に向けて発注の準備を進めており、12月中

**食料・農業・農村基本法の改正において、市の対応は**



中村 哲康 議員

市長 食料・農業・農村基本法に関する基本方針に沿って施策を再構築していく。

**議員** 改正された食料・農業・農村基本法はどのようなところが変わったのか。

**市長** 今回の基本法の改正では、食料安全保障を基本理念の中心とし、環境と調和のとれた食料システムの確立が新たに規定された。また、人口減少下における農業生産の方向性や農村の地域コミュニティの維持と食料システムの関係者の役割の明確化が規定された。  
**議員** 基本理念のうち、

**中小事業所後継者対策について**

**議員** 中小企業・小規模事業所は地域の経済や雇用を担う重要な存在であるが、後継者不足が課題となっている。事業引継ぎの早期計画的な促進が必要と思うが、本市の取組は。  
**地域振興部長** 商工業分野における後継者支援については、商工会と連携をとり、商工会の会合に長崎県事業承継・引継ぎ支援センターから専門委員を招き、事業承継に関する勉強会を定期的を実施しており、支援センターと市及び商工会は情報交換を行いながら事業所のサポートを行っている。

**公共工事における余裕期間制度(任意着手方式)について**

**議員** 柔軟な工期の設定等を通じて、受注者が建設資材や労働者などの確保ができるように制度化

食料の安定供給、安全保障の確保とは何をするのか。

**農林水産部長** 良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、国民一人一人がこれを手に入れる状態を確保することである。  
**議員** 農業の持続的な発展については。  
**農林水産部長** 生産性の向上、付加価値の向上により、農業の持続的な発展を図ることである。  
**議員** 農村の振興については。  
**農林水産部長** 地域社会が維持されるよう農村の振興を図ることである。

**河川災害について**

**議員** 以前より伺っている有家川の亀淵と久保の潜水橋の件は、その後どのようなになっているのか。  
**建設部長** 測量設計委託を本年3月に発注して、実施設計の作業を進めている。今後、有家川の河川管理者である長崎県と設計協議を経て、地元説

れた余裕期間制度をどのくらい活用しているのか。  
**総務部長** 本市では、令和5年に制定した。自転車歩行者専用道路の事業の促進を図るために試行的に取り組んでいる。  
**議員** これから先、一般工事において余裕期間を設けた工事発注をすべきだと思うが。  
**総務部長** 対象となる案件があったら、来年度から積極的に活用していくという考え方で取り組んでいきたい。

**その他の質問**

長崎商工会議所  
 長崎県事業承継・引継ぎ支援センター  
 TEL 095-895-7080  
 長崎市桜町4番1号長崎商工会館1F  
 相談 無料 秘密 厳守  
 受付時間 平日(9時~17時、年末年始を除く)  
 中小企業の事業承継を支援する公的機関



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

**原城跡について**

**議員** 以前崩れて修復したところがまた崩れているが対策は。  
**教育次長** 10月初旬頃から工事に着手する。再度陥没しないように、設計段階において大学の専門家からも助言をもらっている。

**応援幕を設置する掲示板について**

**議員** 応援幕を設置する掲示板について、どのようにお考えか。  
**総務部長** 市の土地でそういったものができるか今後進めていく。



有家川の亀淵潜水橋

### 有人ドローンについて

市長 ドローン活用による地域課題の解決が必要。



日向栄司 議員

### 子育て世帯等移住促進事業補助金制度について

議員 制度の内容は。

市長 18歳以下の子供を扶養する世帯や夫婦双方が40歳未満の世帯を対象に地域の活性化と人口増加を図り、移住定住を促進するための補助制度。移住する家族の引越費用15万円を上限として助成している。

議員 他市では仕事や子育てを両立できる環境整備など様々な制度がある。地域振興部と福祉保健部の両部署で話し合い、本市にとってよりよい政策

### 南有馬クリーンセンターについて

議員 解体跡地のその後の計画は。

環境水道部長 有効的な財源を考慮しながら検討しているところ。

議員 2030年頃には可燃ごみ全体の7%が紙おむつ等で占めると調査が出ている。紙おむつだけを集めて機械で乾燥させ再生エネルギーとして活用する方法があるが、環境に配慮した政策は考えられているのか。

環境水道部長 技術的な課題やコストの問題等あり広範囲に展開するには時間がかかる。

議員 予算等がかなって実現できるのであれば、前向きに検討してほしい。

議員 市長として本市に必要なデジタルトランスフォーメーションは、また、行いたい事業は。

ができればいいと思う。

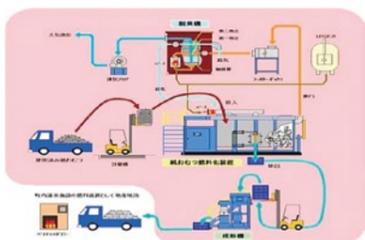
市長 ドローン活用による地域課題の解決が第一。県や民間事業者などと連携して買い物弱者への配送サービス、オンライン診療など社会実装ができないか考えている。

議員 配送ドローンについて伺う。

総務部長 レベル4飛行、住宅地の上も飛行できると指定されたので、その区域を活用して配送サービス等できないか県と協議を行っている。

議員 事業を行うには補助金等のこともあるので早めの申請を行ってほしい。

総務部長 市に合った事業で補助金の対象事業となる分には積極的に取り組んでいきたい。



紙おむつの燃料化



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

### ヤングケアラー対策は

市長 改正法の理念に沿って状況把握のためアンケートを定期的に実施予定。



末統浩二郎 議員

### 教育の充実について

議員 ヤングケアラー対策の具体的な取組は。

福祉保健部長 アンケートによる実態把握、支援の必要性、緊急性に沿った支援を実施。こども家庭センターを中心に関係機関と連携。

議員 長崎県ケアラー支援条例による学校の取組は。

教育長 ヤングケアラー実態調査を毎年県が実施。学校独自アンケートによる実態把握、児童生徒からのサインを見逃さない、きめ細やかな観察と民生・児童委員など地域の

方々と情報共有し、早期発見に努めている。

議員 特別教室の熱中症対策、トイレの改善は。

教育次長 音楽室、理科室、家庭科室はエアコン設置。トイレは計画的に洋式化を図っている。

議員 警戒アラートは頻りに発令、空調整備を。教育次長 気温は上昇している。市長部局とともに検討したい。

議員 ヤングケアラー対策など先生の業務も増加、学校支援員など充実を図ってほしい。

議員 防災意識の向上対策、住宅への感震ブレイカーの補助は。

総務部長 市の防災講座への応募件数が増加。自主防災組織での防災グッズの整備、避難訓練を実施中。通電火災等の啓発も推進している。

議員 避難所の熱中症対策のための空調整備、災害対策アプリの活用は。

議員 冷房設備の無い体育館は大型扇風機・スポットクーラーで対応予定。防災アプリの導入は検討中。緊急防災減災事業債は時限立法、今後の検討課題。

議員 個別避難計画は。福祉保健部長 5年度から策定中、今年度末には、ハザード区域内の対象者を完了したい。

議員 交差点の安全対策は。案内板の設置は。

建設部長 侵入防止柵、カラー舗装、交差点強調柵等の対策を実施。

地域振興部長 案内板は供用開始区間から順次設置中。

議員 市道の交差点



市道との交差点

### 水道料金の改定について

市長 令和5年度に水道料金等審議会を開催し、この答申を踏まえた上で料金を改定となっている。



井上修一 議員

### 水道料金の改定について

議員 水道料金の改定の理由は。

環境水道部長 人口減少や、節水型機器の普及による料金収入の減少と、昨今の資材高騰により施設の老朽化に伴う維持管理費用が増え、経営に大きな影響を及ぼすため料金改定は避けて通れないものと考えている。

議員 これは全国的な問題になっているが、他の市はどうなのか。環境水道部長 近隣では、雲仙市が令和5年10月分

から、島原市も本市と同じく令和7年4月使用分から料金改定を予定している。

議員 水道管の老朽化による漏水はどれくらいあるのか。また中長期的な経費削減を目的に、AIを導入して水道管の劣化診断を行い、効率的に漏水対策を試みている自治体があるが、本市ではそのような考えはないか。

環境水道部長 令和5年度の漏水件数は501件。AIの導入については、今後検討する。

議員 給食費の無償化についての考えは。市長 市単独での実施の予定は、現在のところないが、長崎県市長会、九州市長会において、学校給食費の無償化について、自治体の規模やまた財政力による地域間格差が生じないよう国の公費負担（無償化）として恒久的な財政措置を早期に講じること等の申入れを行っている。

議員 現在、本市が行った

議員 果樹に特化した未来農業フロンティア事業を行っていると思うが、ほかの品目に広げる考えはないのか。環境水道部長 今後、関係機関等と協議を行いながら検討していきたい。

議員 イノシシやアナグマなどの有害鳥獣対策は。環境水道部長 令和5年度は、市内12地区でワイヤーメッシュ柵を1万1,180m、電気柵を5,230m整備した。

議員 捕獲の状況と報奨金の状況は。環境水道部長 令和5年度イノシシを2,492頭、アナグマを143頭捕獲している。報奨金はイノシシが成獣で1万7千円、幼獣で1万1千円、アナグマは1万円を支出している。

議員 「箱わな」での捕獲が難しい大型のイノシシの対応は。環境水道部長 猟友会と協議し、今年度より「くくり

議員 子宮頸がんワクチンを自費で接種する場合は、かなり高額になるので、キャッシュアップ接種の推奨に関して料金の周知も必要と思うが。

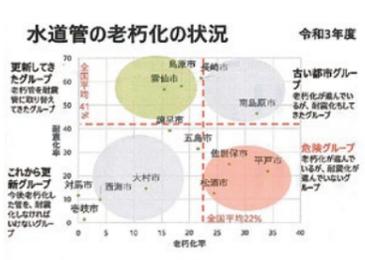
議員 子宮頸がんワクチンを自費で接種する場合は、かなり高額になるので、キャッシュアップ接種の推奨に関して料金の周知も必要と思うが。

福祉保健部長 1回目を必ず9月に接種していたら、3回を無料で終わらせることができないうので、改めてPRをしていきたいと考えている。（後日、HPで周知した）

議員 人口減少対策は喫緊の課題と考えるが移住者の実績は。地域振興部長 令和4年度105名、5年度は84名となっている。

議員 空き家を活用した移住対策はある程度効果を上げている。人口減少対策として市内に残る人に定住支援金を創設してはどうか。

市長 本市に若者が残り地域経済を支えていくため今後具体的な施策を進めていきたい。



水道管の老朽化の状況



質問の様子を動画で見よう

議員 人口減少対策について

議員 人口減少対策は喫緊の課題と考えるが移住者の実績は。地域振興部長 令和4年度105名、5年度は84名となっている。

議員 空き家を活用した移住対策はある程度効果を上げている。人口減少対策として市内に残る人に定住支援金を創設してはどうか。

市長 本市に若者が残り地域経済を支えていくため今後具体的な施策を進めていきたい。



設置されたワイヤーメッシュ柵

### オーガニック給食の 次回の予定は

市長 予定では3学期に提供可能。



松本 添花 議員

#### 熱中症対策について

議員 本市の救急搬送件数及び状況等は。

市長 令和6年4月29日

から8月26日までの救急搬送件数は、島原広域消防本部管内では112件、そのうち南島原市は49件。状況については、軽症が16件、中等症が29件、重症が2件、死亡が2件。

議員 熱中症から市民の生命を守る取組は。

福祉保健部長 防災行政無線で呼びかけ、市報やLINE、新たに創設された熱中症特別警戒アラートの周知、熱中症リスク

### 堂崎港埋立地の活用は

地域振興部長 最短で令和7年度に土地を購入できる。多くの雇用が期待できる企業誘致を考えている。



寺澤 佳洋 議員

#### HPVワクチンについて

議員 キャッチアップ接種(補助)期限が近づいている。再啓発対応は。

福祉保健部長 市のホームページでトップページの重要なお知らせに表示している。(9月末まで)

#### 施政方針・今後の医療体制について

議員 施政方針に「令和6年度に「診療所の開設・承継」と「在宅医療」などを促進する本市独自の支援制度を創設する」とある。進捗状況は。

市長 現在、南島原市医

が高い高齢者の自主グループや出前講座において、予防行動や暑熱避難施設の利用についての講話を実施している。

議員 小・中学校の屋外での授業の帽子の取扱い。

教育次長 小学校は赤白帽を着用。中学校は3校が学校指定の帽子があり、ほかの5校は教師が着用を働きかけ、気温等にに応じて生徒自身が判断している。

#### オーガニック給食について

議員 現状と次回の予定は。

教育長 本年度は、生産者の方々が有機米の栽培へ取り組まれている。オーガニック協議会の協力の下、そのお米とオーガニック野菜を使用した学校給食の実施を計画している。具体的な献立は今後検討する。予定では3学期あたりに提供可能である。

議員 生産者との協議の

進捗状況は。

農林水産部長 南島原オーガニック協議会内で継続して協議を行っている。学校給食への提供の課題は、収穫時期により提供可能量や回数が限られること。生産者や教育委員会と連携し、課題解決に向け検討していく。

議員 市長の考え、方向性は。

市長 諸課題を解決し、オーガニック給食の拡充を図っていきたい。それが本市のオーガニック農業推進にもつながる。

#### 原城跡について

議員 夏場の草刈りのルートや優先順位は。

教育次長 歩行者が歩く箇所や車道に面する箇所を中心に優先順位をつけて行っている。



有機米試験栽培ほ場



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

#### デジタル田園都市国家構想交付金について

議員 令和6年度における交付金の申請の中に、医療・看護・介護・福祉の分野はあるか。

総務部長 その分野はない。

議員 今後、島原半島において、ドローンを活用した処方箋配送サービスとオンライン診療、医療関連の専用車両、新規診療所開設などに関わる機器購入費等を組み合わせ、申請してみたい。

市長 議員がおっしゃったことも、また連動していくのかなと、させていかなければいけないと思った。

#### ドローン事業について

議員 南島原市におけるドローンの活用や今後の事業展開の構想は。

市長 今回の国家戦略特区の指定によって多くの規制が緩和された。今後、ドローンを活用した本市における地域課題の解決や魅力向上の取組などについて、様々な関係機関と連携をし、積極的に検討を行っていきたいと考えている。



### 人口減少対策は

市長 「定住促進のまちづくり」など住み続けたい、住んでみたいまちの実現を図る。



松永 忠次 議員

#### ジオパークについて

議員 世界ジオパークに認定され、本市はどのような活動や取組を行っているのか。

市長 島原半島ジオパークを活用した誘客促進に取り組み、地域振興に努めていく。

議員 本市のジオサイトの数は。

地域振興部長 数までは把握していない。数字の把握ができていないのが管理体制がなっているのか。年間のジオパークへの来客数は、

地域振興部長 ジオパークだけで島原半島に

### 津吹湖の樋門の管理について

市長 地元の管理組合で行っている。



酒井 光則 議員

#### 津吹湖の排水対策について

議員 津吹湖の樋門の管理は素人では難しいと思うが市で管理できないのか。

農林水産部長 他の水利施設の管理状況を踏まえ、市で管理することは難しい。電動化については、地元関係者と協議していきたい。

議員 津吹湖は流域面積も広く、大雨時には農地、並びに民家も浸水する場合もあり、根本的な対策が必要だと思いが。

建設部長 多額の費用が

たお客さんの数は区分けできていない。

議員 再認定できるのか。

地域振興部長 来年国際審査を受ける。

#### 人口減少対策について

議員 人口減少対策は。

市長 第II期南島原市総合計画後期基本計画で、令和42年の目標人口を2万5千人と設定し、「元気な産業と定住促進のまちづくり」「住み続けたい環境づくり」など、住み続けたい、住んでみたいまちの実現を図る。

議員 人口流出抑制の若者Uターンなど促進されているが、今年度市の職員採用は何名か。

総務部長 15名。

議員 その15名のうち、本市出身は何名か。

総務部長 本市出身者8名、市外出身者7名。7名のうち5名が本市に住所を移している。

議員 南島原総合計画審議答申で、市外へ就職等により若年層の減少等に歯止めをかける必要がある。

#### 農業振興について

議員 スマート農業への取り組み状況は。

農林水産部長 スマート農業機器等導入支援事業補助制度を設けている。

議員 スマート農業技術活用促進法が10月に施行されるが、本市農業振興にどのように活用するのか。

農林水産部長 制度の詳細が判明次第、活用を検討したい。

議員 基盤整備事業の進捗が遅れている地区があるが。

農林水産部長 8月着手予定が不落になった。



龍石海岸 (島原半島ジオパーク)



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう



津吹湖の樋門

**「真砂」は直営ではなくて、指定管理者を公募するのはなぜか**

市長 広く公募して指定管理先を選定。



高木和恵 議員

**議員** (株)原城振興公社には市から2千万円の出資金がある。二人は市の充て職かまたは個人か

**市長・副市長** 回答なし。

**議員** 真砂は福祉施設か

**地域振興部長** 福祉施設ではない。

**議員** 旧給食センターの建物と備品の処分についてはどうされるのか。

**教育次長** 北有馬は解体。備品の処分については、オークション、競り売り等、今後検討していく。

**議員** 道の駅の買い手は2社。地元の業者は辞退。辞退届は出ているか。

**副市長** (みずなし本陣(株)へ) 提出されていた。

**議員** 新聞記事では道の駅の買い手(株)エバグリーンに副市長2,500万円、職員500万円を融資。現在アペクシ

**議員** 通勤通学道路の完成はいつか。

**市長** 令和7年度の予定。

**議員** 世界遺産センター建設は誰のためか。

**市長** 地域のみならず観光客に愛される施設になると考えている。

**議員** 赤字が大きくなったらどのような責任をとるのか。

**市長** 責任を取る取らない以前に、必要な施設であると考えている。

**議員** 真砂のお風呂は本当に天然温泉か。

**地域振興部長** 温泉である。

**議員** 道の駅の買い手は2社。地元の業者は辞退。辞退届は出ているか。

**副市長** (みずなし本陣(株)へ) 提出されていた。

**議員** 新聞記事では道の駅の買い手(株)エバグリーンに副市長2,500万円、職員500万円を融資。現在アペクシ

**議員** 道の駅の買い手は2社。地元の業者は辞退。辞退届は出ているか。

**副市長** (みずなし本陣(株)へ) 提出されていた。



【路線跡地の名称】

市道名	市道 南島原自転車道線
事業名	南島原市自転車道整備事業
工事名	市道 南島原自転車道線整備工事〇〇工区

**議員** 通勤通学道路の完成はいつか。

**市長** 令和7年度の予定。

**議員** 世界遺産センター建設は誰のためか。

**市長** 地域のみならず観光客に愛される施設になると考えている。

**議員** 赤字が大きくなったらどのような責任をとるのか。

**市長** 責任を取る取らない以前に、必要な施設であると考えている。

**議員** 真砂のお風呂は本当に天然温泉か。

**地域振興部長** 温泉である。

**議員** 道の駅の買い手は2社。地元の業者は辞退。辞退届は出ているか。

**副市長** (みずなし本陣(株)へ) 提出されていた。

**議員** 新聞記事では道の駅の買い手(株)エバグリーンに副市長2,500万円、職員500万円を融資。現在アペクシ

**議員** 私は「申し合わせはしない」と言った。融資した金は回収できているかを質問。申し合わせで喋らせんとは違反。

**議長** 喋るなどは言っていない。常識の範囲内で質問してください。皆さんで決まりました。その質問は中止して、他の質問に移ってください。議事進行は間違っていないと思う。議長権限である。

**議員** 全員協議会の申し合せ中に話した話じゃないんでしょうか。

～南島原市議会活動レポート～



**長崎県市議会議員研修会**

令和6年8月22日(休)、佐世保市において長崎県市議会議長会議員研修会が開催され、県下各市議会から多くの議員が参加されました。

地方議員研究会 黒瀬 雄大 氏より「老朽化に備える公共施設マネジメント政策」についての講話がありました。

老朽化した施設等により災害が発生した事例や、長崎県各市の施設等の現状が紹介され、課題と解決のための取組など理解を深めました。



**島原半島3市議会議員合同研修会**

令和6年8月8日(休)、島原市のホテルシーサイドにて、第13回島原半島市議会議員合同研修会が開催されました。この研修会は、島原半島の3市が連携し、地域の課題解決に共に取り組むことを目的としています。

今回の研修会では、長崎県産業労働部の宮地智弘部長から「島原半島の未来について」というテーマで講演をいただきました。企業誘致を中心に成功事例や条件などお話しいただき、参加者にとって大変有意義な時間となりました。

田中次廣 委員長

決算審査特別委員長報告(概要)

〔認定第1号「令和5年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について」を不認定

主な質疑

**〔総務部関係〕**  
**質疑** 合併特例債の残りの枠と、発行額、現在の返済額は。

**答弁** 合併特例債の発行可能額は、ハード事業分として338億5,620万円。ソフト事業で基金に積立てた分として38億円。合わせて、376億5,620万円が発行可能額となっている。令和6年度の補正予算までに、369億8,880万円を借入れ予算化しており、残額が6億6,740万円になっている。繰上償還を行い、負担軽減を図り、令和5年度の決算として、約86億円の市債現在高となっている。

**〔環境水道部関係〕**  
**質疑** 分散型エネルギーインフラプロジェクトマ

うのは、手取り早くいいのかもしれないが、3社で見積りを取るとい考えはなかったのか。

**答弁** 株式会社リミックスポイントは、リニューアルする道の駅の施設の脱炭素化などについて、道の駅の受託事業者とともに、どういう形でしているのか検討されていたところである。市のほうにも、道の駅の脱炭素化を図っていくのはどうかという提案を頂き、市としても、道の駅の賑わいを取り戻すとか、市の目指している脱炭素に寄与するというようなところが、提案をもち、国へこの補助金の応募をした。南島原市の事業を理解していることから、特命随契という形で行った。

**〔教育委員会関係〕**  
**質疑** 原城の土地の購入は、あとのぐら残っているのか。

**答弁** 全体で、48万平米

ほどあり、そのうちの7割を購入している。残りの方は、現在農業をしている方がいて、必要な場所についてはお願いをしている。

**〔地域振興部関係〕**  
**質疑** サテライトオフィス等開設支援事業補助金9千万円の概算払いの件で、エバグリーンから市に対し行政不服申立てがなされたということだが、市の対応は。また、返還命令を出したのに返ってきてない。これらについて説明を。

**答弁** エバグリーンから出された行政不服申立ては却下され、通知をされている。それから督促は、本日(17日)が期限で、現段階では入金されていない。市は、法に基づいて手続を行っていき、仮差押え等、訴訟に今後動いていく。

**〔建設部関係〕**  
**質疑** 住宅の未収金に対する対応は。

**答弁** 住宅の滞納分については、本来回収される

べき債権が回収されないままになっていることは、不公平ということもあるので、催告書を本人宛てに送付する。それに対して納付がない場合は、戸別に訪問し納付の話をしたり、連絡が取れない場合は、保証人に話をし納付をお願いして、滞納の整理をしている。

**〔福祉保健部関係〕**  
**質疑** 妊産婦医療費助成制度に関して、710万円ぐらに予算計上している中で、今回140万円ぐらにの支給ということだが、今後の対象者の条件と、給付条件を見直す考えは。

**答弁** 妊産婦医療費助成金は、申請した人が、自己負担額の合計額から5万円を差し引いた額の3分の2ということ、一番安い人が1千円で、高い人は10万円を超えているので、このあたりは分析を行い、今後もっと助成金を使えるような形に

していきたくいと思っ  
たい。今後の検討課題にし

〔農林水産部関係〕

〔質疑〕 農薬散布補助は、5年度は水稲が補助対象になっていたが、6年度は水稲を除く野菜類が対象となっている。毎年対象を変えているようだが、どのような理由なのか。

〔答弁〕 農業用ドローン実証事業は、令和3年度から始まり、水稲、ブロッコリー、バレイショ等を行った。令和4年度は水稲、タマネギ、令和5年度は水稲と小麦を行った。何が一番いいのかというところで、実証事業をやっている。今後ドローンの普及で、農薬散布ができるのかという実証を目的として、本年度は水稲以外で実施をしたところである。

討 論

〔反対討論〕

サテライトオフィス等開設支援事業に関して、9千万円の概算払いが行われ、そのお金がどこに行っていたのか不明瞭である。そのうえ、事業が滞り、9千万円の返還請求期限が過ぎて返還されていない状況である。議員としては、補助金を予算で認めた責任はあるが、前述のとおり事業が頓挫し、事業停止に至っていることから、この予算執行は認めることができないと判断し、反対をせざるを得ない。

また、環境課の分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン策定業務においても、本市への指名願が提出されていない。また、その業者は本市に対しての実績もないような業者で、1社の特命随意契約で、1,870万円の業務委託を行っているということが分かり、説明を求め

たが時間がなかったとの復旧で時間がないのは理解できるが、これには当てはまらず、年度を越して、また新しく正規の手続を踏むべきではなかったのか。そういう意味では納得いくものではない。1社の特命随意契約を避けるべきこの時代に反していると思う。入札契約事務が適切に行っていないことも、反対の理由。

〔賛成討論なし〕  
（起立採決の結果（賛成0・反対14）全会一致で不認定）



末統浩一郎委員長

総務委員長報告(概要)

・議案2件を原案可決

〔議案第30号〕財産の取得について（職員用パソコン購入）

〔質疑〕 パソコンは市全体で何台使っているのか。今回購入予定以外は何台残っているのか。

〔答弁〕 職員・会計年度職員及び選挙や確定申告等で臨時的に使用するものも含め、全体数650台で、残りは340台。

〔質疑〕 サポートの期限がきた分を今回入れ替えて購入することだが期限は。

〔答弁〕 2025年10月が期限で、残りは来年度の更新を計画。

〔質疑〕 購入が安いのか。リースとの比較は。

〔答弁〕 購入が安い。今回の場合はリース契約が600万円ほど高くなる。

〔議案第32号〕令和6年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

〔総務部関係〕

〔質疑〕 合併特例債（※1）はまだ使えるのか。幾ら残っているのか。

〔答弁〕 7年度まで使え、発行可能額は7億円弱。

〔質疑〕 合併特例債は有利な地方債だが、限度額まで発行するのか。

〔答弁〕 交付税措置が7割ある有利な起債で、発行可能額は376億円ほど。ほぼ満額使い切る計画。

〔質疑〕 防火水槽設置事業など当初予定した過疎債（※2）がつかなかったのか。合併特例債へ替えたのか。

〔答弁〕 最も有利な過疎債を予定していたが、要望が全国的に多く、配分額が市の要望額に達しなかったため、合併特例債に振り替えるもの。

〔質疑〕 過疎債の配分が要望額に達しないとき財源をどのように賄うのか。

〔答弁〕 普通建設事業の精

査を行い、必要な事業を年次計画に基づき順次実施する。

〔質疑〕 過疎債の適用も難しくなる中、進めなければいけない事業もあるが、どのように取り組むのか。

〔答弁〕 合併特例債は合併後20年間の期間限定の起債で、全国では使える期間が終わった団体もあり、過疎債の要望が増加している。国も令和6年度の額を増加したが、枠以上の要望があり全国一律カットとなった。今後過疎債の要望は増加が見込まれるため、事業に応じ対象となる起債を採択して事業を進める方法もある。

〔※1〕 合併特例債  
合併した市町村が、市町村建設計画に基づく特に必要と認められる事業に対する財源として借り入れることができる地方債のこと。

〔※2〕 過疎債  
過疎地域とされた市町村が、過疎地域持続的発展市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債のこと。

日向栄司委員長

文教厚生委員長報告(概要)

・議案4件を原案可決、認定2件を認定、  
請願1件を採択

〔議案第31号〕南島原市原城跡世界遺産センター展示工事請負契約の締結について

〔質疑〕 契約に関して、相手方の実績や滞りなく事業が行われているか確認を行ったのか。

〔答弁〕 契約の相手方については、博物館等を専門にした全国的にも数多くの実績がある会社で、近隣では雲仙岳災害記念館「がまだすドーム」がある。また、令和3、5年度に本市の業務を受託しており、十分な実績がある。

〔質疑〕 県の事業認定が下りた後で、用地買収や償などに進んでいくが、先行してガイダンスの展示工事を行うことができるのか。

〔答弁〕 展示工事については、ソフトとハード部分に分かれており、6年度では展示サインや映像コ

ンテナツの制作などソフト部分を中心に進めていく。

〔反対討論〕

この施設が将来にわたる本市の負のレガシーになる可能性が高いということ。また、道の駅の補助金（公金）の問題についてまだ調査中であり、この件が解決に向かうまでは、進めるべきではない。

〔賛成討論〕

本市において起爆剤となりうるこの世界遺産センターを今進めていかないと、国・県の補助金が下りてこない状況になる。市が全額を負担するわけではなく、国・県からの補助も相当な金額が動く。（起立採決の結果（賛成4・反対1）原案可決）

〔議案第32号〕令和6年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

〔教育委員会関係〕

〔質疑〕 旧北有馬給食センター解体工事の設計委託料だが、解体費用はどれくらいを見込んでいるか。

〔答弁〕 概算で4千万円程度を見込んでいる。

〔市民生活部関係〕

〔質疑〕 その給食センターの土地について、地権者は何名で、解体後は原状復帰して返すのか。また、備品については処分するのか、使用できるものはオークションをするのか。

〔答弁〕 地権者は1名で、解体後は地権者の要望により田にして返す。また残った備品については、総合的に判断したい。

〔市民生活部関係〕

〔質疑〕 有家庁舎の防水工事は一部分なのか。また、以前改修したときに行っていないのか。

〔答弁〕 屋上の塔屋部のみで一部になる。平成29年に庁舎の耐震化と併せて防水工事を行ったが塔屋部は含まれていなかった。

〔福祉保健部関係〕

〔質疑〕 こども医療支援事業の福祉医療費3千万円余りの増額は、想定よりも多かったとのことだが、その理由は。また、児童扶養手当給付費の増額で、国の負担535万円に対して市の一般財源が1,100万円ぐらいという割合は大きいと思うが。

〔答弁〕 こども医療支援事業については、昨年10月から小中学生の福祉医療費を現物給付にした。当初予算を検討する際、乳幼児の福祉医療費を現物給付にするときの率で1.5倍を計上していたが、4、6月の実績で年間分を見込んだところ、実際は2倍以上になり増額するもの。児童扶養手当は、11月からの制度改正による増額だが、財源の割合は国の負担が3分の1で、市の負担が3分の2となっているため。

（討論はなく、採決の結果、文教厚生委員会に分割付託された関係分については、原案可決）

〔議案第2号〕令和5年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕 国保の財政調整基金が10億円を超え、数年前と比べ危機的な状況から上向いてきているが、本市の規模では、不測の事態に備えてどのくらいあるのが望ましいか。

〔答弁〕 以前は医療支出分の約3か月分の基金残高と言われていたが、県が財政を統括したことで、その基準はなくなっている。

〔質疑〕 病気が重症化しないように特定健診を推進されているが、その受診率の状況と目標%は。

〔答弁〕 4年度は40%。コロナ以前の45%を目標にしている。

〔請願第4号〕ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について



（討論はなく、採決の結果、採択）

〔その他の案件〕

〔議案第33号〕令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

〔議案第34号〕令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

〔認定第3号〕令和5年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

# 農林水産・建設委員長報告(概要)

・議案5件を原案可決 認定2件を認定

【議案第28号】南島原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

**質疑** 超過料金の改正となるが、例えば一般家庭4人家族の場合の水の使用量は平均どのくらいで、また、いくら増えるのか。

**答弁** 今回の改正では、超過料金の単価を1立方メートルにつき188円を250円に改めるもので、改定後は一般家庭4人家族の平均使用量20立方メートルの使用料金が3,180円から3,800円と620円の増額となる。

**質疑** 今回の値上げでどのくらいの収入を見込まれているか。

**答弁** 今回改正した場合に、1億7,500万円程度の料金収入増を見込んでいる。

**質疑** 今後の水道管の老朽化に対する費用増加や人口減少に伴う収入減に對して、今後の料金改定はどう考えているのか。

**答弁** 水道を供給するために必要な経費と水道料金収入の収支を今後は定期的に注視しながら、必要な時期に料金改定をしないとイケないと考えている。

**質疑** 経費を考えたときに、水道料金の改定をしてもまだ足りないと思うが、どう考えているのか。

**答弁** 水道事業経営のための財源は料金収入が主な財源だが、収支を保つために一般会計からの繰り入れを行っている。

**質疑** 市民は公共料金の値上げに対して非常に抵抗が強いが、今回の改定に当たって、なるべく影響が出ないように考慮しているか。

## サテライトオフィス等開設支援事業補助金調査特別委員会中間報告

林田久富委員長

7月5日

【第1回委員会】  
特別委員会の設置、委員長・副委員長の決定。  
【第2回委員会】

今後の進め方について協議を行い、執行部へ次の資料の提出を依頼。

①「道の駅ひまわり」の所有者や運営者の変更の経緯が分かる資料  
②補助金に関する例規資料  
③当該補助金事務の流れが分かる資料  
④令和5年度実績に対する交付額確定（戻入命令）の根拠となった施設改修費1,383万円の詳細が分かる資料（現地確認含む）

7月29日

【第3回委員会】  
執行部からの提出資料に基づき説明を受け、質疑を行った。



※詳細はこちら

8月9日

【第4回委員会】  
参考人としてエバゲリョンの取締役 地頭蘭哲郎氏が出席。

地頭蘭氏からの説明のあと、質疑を行った。

8月26日

【第5回委員会】  
市長部局に対する聴聞を実施。

まず、副市長からの説明を受け質疑を行った。次に、執行部から地頭蘭氏と市の相違点について説明があった。全部で11点の相違点について説明を受け、その後質疑を行った。

た点があれば聞きたい。  
**答弁** 市民の負担を考慮し、使用水量が少ない高齢者や一人世帯など10トン未満の基本料金については、料金を据え置くことにした。  
(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第32号】令和6年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

**質疑** 生活環境整備事業にどれだけの申請が増えるのか。  
**答弁** 生活環境整備事業の申請件数が当初の15件から相談も含め49件に増えたため、今回の補正では精査した7件分を計上している。主な整備内容としては、道路の拡幅、一部拡幅または舗装等の工事に対する申請である。

**質疑** 相談件数が49件で、今回の補正で計上した7件以外の申請者は来年度で対応するのか、まだ対応するのか。  
**答弁** 今回の補正以外の申請については、現地の状況を踏まえ、現地で立会いをしながら進めていきたいと考えており、申請については来年度以降と考えている。  
(討論はなく、採決の結果、農林水産・建設委員会に分割付託された部分については、原案可決)

【認定第4号】令和5年度南島原市水道会計決算の認定について

**質疑** 水道事業において、料金収入で足りない部分は一般会計から繰入れるということだが、繰入金金の基準とルールはあるのか。  
**答弁** 水道会計は一般会計繰入金金によって収支が保たれているが、一般会計のルールとしては、これまで水道整備事業等で借りた地方債(起債)に對して地方交付税措置で

決まった額を繰り入れていく。  
**質疑** 水道管の老朽化の目安になるといわれる減価却率の本市の評価と老朽管の更新計画はどうなっているのか。  
**答弁** 本市の減価却率(30%)については、全国の類似団体(51.9%)と比較してそこまで老朽化が進んでいない状況ではあるが、布設年度が古い水道管の更新をしながら、漏水が多い路線を優先的に更新している。  
なお、深江地区においては高圧による漏水を軽減するため、配水池を新たに設けて適正な水圧にするための工事を進めている。  
(討論はなく、採決の結果、認定)

【その他の案件】

【議案第29号】南島原市営農飲雑用水供給施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【議案第35号】令和6年度南島原市水道事業会計補正予算(第1号)

【議案第36号】令和6年度南島原市下水道事業会計補正予算(第1号)

【認定第5号】令和5年度南島原市下水道事業会計決算の認定について



## (※1) 地方自治法100条の権限とは

地方自治法100条には、地方議会は「自治体の事務について調査し、関係者の出頭や証言を求めたり、記録の請求ができる」とあり、議会の100条調査権とも呼ばれます。

この100条に基づき、自治体の事務に関して疑惑や不祥事があった際、事実関係を調査するため、地方議会が議決、設置するのが「百条委員会」です。百条委員会では、関係者の出頭や証言、記録提出を求めることができるなど強い調査権限を持ち、虚偽の証言をした場合は5年以下の禁錮刑、正当な理由がないのに証言を拒否した場合などは6か月以下の禁錮刑や10万円以下の罰金を科すことができます。

### 地方自治体の事務に関する調査を行う権限

- ・当該団体の事務に関する調査
- ・選挙人その他の関係人の出頭や証言、記録の提出の請求



議会の過半数の賛成で設置



【市長その他の執行機関】

虚偽の証言

証言を拒否



3か月以上  
5年以下の禁錮



6か月以下の禁錮  
10万円以下の罰金

# 令和6年 第3回定例会で意見が分かれた議案の採決

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18
議案番号	寺澤佳洋	松本添花	日向栄司	井上修一	田中克彦	末統浩二郎	永池充宏	酒井光則	中村哲康	高木和恵	隈部和久	林田久富	松永忠次	小嶋光明	黒岩英雄	吉岡巖	田中次廣
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
発議第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 -：不在

# 令和6年 第3回南島原市議会定例会議決一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第14号	放棄した債権の報告について	令和6年9月9日	受 理
報告第15号	放棄した債権の報告について	令和6年9月9日	受 理
報告第16号	令和5年度南島原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	令和6年9月9日	受 理
報告第17号	株式会社ミナサボの経営状況に関する書類の提出について	令和6年9月9日	受 理
報告第18号	株式会社原城振興公社の経営状況に関する書類の提出について	令和6年9月9日	受 理
議案第28号	南島原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	令和6年10月1日	原案可決
議案第29号	南島原市営農雑用水供給施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	令和6年10月1日	原案可決
議案第30号	財産の取得について（職員用パソコン購入）	令和6年10月1日	原案可決
議案第31号	南島原市原城跡世界遺産センター展示工事請負契約の締結について	令和6年10月1日	原案可決
議案第32号	令和6年度南島原市一般会計補正予算（第2号）	令和6年10月1日	原案可決
議案第33号	令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	令和6年10月1日	原案可決
議案第34号	令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	令和6年10月1日	原案可決
議案第35号	令和6年度南島原市水道事業会計補正予算（第1号）	令和6年10月1日	原案可決
議案第36号	令和6年度南島原市下水道事業会計補正予算（第1号）	令和6年10月1日	原案可決
議案第37号	令和6年度南島原市一般会計補正予算（第3号）	令和6年10月1日	原案可決
認定第1号	令和5年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について	令和6年10月1日	不 認 定
認定第2号	令和5年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和6年10月1日	認 定
認定第3号	令和5年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	令和6年10月1日	認 定
認定第4号	令和5年度南島原市水道事業会計決算の認定について	令和6年10月1日	認 定
認定第5号	令和5年度南島原市下水道事業会計決算の認定について	令和6年10月1日	認 定
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和6年10月1日	答申(適任)
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和6年10月1日	答申(適任)
請願第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	令和6年10月1日	採 択
発議第5号	「少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書」の提出について	令和6年10月1日	原案可決
発議第6号	サテライトオフィス等開設支援事業補助金の調査に関する決議	令和6年10月1日	原案可決
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	令和6年10月1日	決 定

## 賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

**【認定第1号】令和5年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について**

**〔反対討論〕** 1点目は、デジタル田園都市国家構想交付金の9千万円支出について。この交付金は道の駅にある建物を改修してサテライトオフィスをつくるという目的で、総額約1億1千万円、国と市が2分の1ずつ持つというもの。国からの交付金は全く支出されてないにもかかわらず、概算払いにより9千万円を支出したことについて疑義があると判断した。さらに、9千万円支出後、工事が初期段階で滞り事業停止となっているばかりか、返還請求にも応じられないままである。

2点目は、環境課の分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン策定業務において、本市への指名願が提出されておらず、また本市の実績がない業者との1社の特命随意契約で1,870万円の業務委託を行っている点に疑義を感じた。その点について説明を求めると、時間がなかったとの答弁で、災害などの復旧で時間がない場合は理解できるが、これに当てはまらず納得いくものではない。1社の特命随意契約は避けるべきこの時代に反していると思う。以上により、入札契約事務が適切に行われていないことも反対の理由。

**〔反対討論〕** 世界遺産センターの建設には市民の方も納得されておらず、ずっと反対してきた。昨年の予算にもあるので反対。

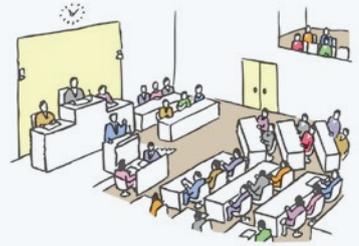
9千万円出すことになった、サテライトオフィスの補助金については、副市長は最初から概算払いでできるようにしてお

ばよかったという反省をされているが、8月18日の改正で、その文言を追加し、それによって支出したことに對して、私は納得できない。

真砂の売上げ減に対して2,500万円支出している。納得できない。MINAコインのポイントだが、商品を購入してもらい売上げが増加した業者がポイントをあげるのが普通。みんなの税金で、MINAコインで購入すれば幾らのポイントがもらえますよということに、相当の不満が私の耳に入っている。事業の見直しも反対の理由の一つ。

**〔反対討論〕** サテライトオフィス等開設支援事業補助金調査特別委員会の林田元委員長報告にもあったように、この9千万円に関しては、市側（市長部局）と相手側との相違点も多く、現在はその流れを含めて、その使途に疑義を抱く点が残る。また、7千万円を超える戻入未済額が生じており、この要因に関して、市側がその責任の一端を担う可能性も残る。今後これらの不明確な部分が明らかとなり、納得できる形となれば、認定と意見は変わるかもしれないが、本日の段階では不認定。

# 南島原市議会 Q & A



**Question?**  
**特別委員会について教えてください。**

**Answer!** 特定の事件や重要な問題を審査するために必要に応じて議会の議決で設置される委員会です。この議会だよりは、議会広報編集特別委員会により作成されています。  
 また、現在南島原市には、島原半島南部地域高規格道路建設促進特別委員会、サテライトオフィス等開設支援事業補助金調査特別委員会があり、そのほか決算(予算)審査特別委員会を適宜設置しています。

詳しくはこちら



八木 信也 氏 (北有馬町)



藤本 恵美子 氏 (北有馬町)

(令和7年1月1日から  
令和9年12月31日)

人権擁護委員

人事案件



次回の定例会は  
**令和6年12月3日(火)**  
**開会**の予定です

## 議会広報 編集特別委員会

委員長 井上 修一 副委員長 末統浩二郎  
 委員 寺澤 佳洋 委員 田中 克彦  
 委員 永池 充宏 委員 酒井 光則  
 委員 田中 次廣  
 (発行責任者)  
 議長 吉田幸一郎

☆議会だよりに、御意見、御感想がありましたら、  
**議会事務局「議会だより」係**までお願いします。  
 〒859-2202 南島原市有家町山川58番地1  
**☎ 0957-73-6611**  
 メールアドレス : gikai@city.minamishimabara.lg.jp

### 編集後記。

連日熱中症アラートが発令され、炎天下での外出・屋外活動を避けるようにと熱中症情報が出されています。例年になりに暑い日が続いている南島原市、また全国的には経験したことがないような豪雨が線状降水帯によりもたらされています。自然環境の変化には、これまでの常識が通用しなくなっているようです。また、1月に能登半島地震、8月に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。多くの断層を有する島原半島においては、大規模地震の発生が危惧される状況でもあります。半島の奥に広がる南島原市、災害発生に対する備えが大切となってきます。災害対策はまず自分自身で自分を守ることから始まると思います。ご家族でもしもの時にどのような行動をとるのか、一緒に考える時間を持たれてはいかがでしょうか。

議会だよりの編集につきましては、皆様に親しまれ心待ちにして頂ける「議会だより」になるよう心掛けております

「これからも「議会だより」をご愛読頂きますようお願いいたします。

議会だよりに対する市民の皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

議会広報編集特別委員会  
 副委員長 末統浩二郎